

## 自動車防災情報

## トラックの特性と事故パターン ②車長と事故

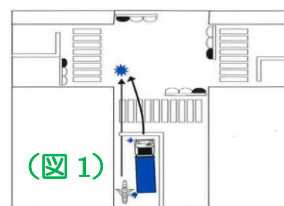
## 1. 巻き込み事故

- ①トラックは内輪差が大きいので、左折時に二輪車や自転車などを巻き込むことがあります。
- ②また、狭い道路へ左折する際には、巻き込み以外にも注意することがあります。それは、右側へのふくらみです。狭い道路へ左折する際、ドライバーは内輪差を考え、いったんハンドルを右に切ってから左に大きく曲がっていきます。しかし、そのような動きをすることを知らないバイクなどが「トラックは右折するもの」と勘違いして、後方から左側をすり抜けていこうとして衝突することがあります。
- ③一方のトラックも、大きく右に車体を振ることによってミラーの視界が変化するため、右に車体を振るまでは見えていたバイクが見えなくなる場合もあります。
- ④狭い道路から狭い道路へ右折していくときにも、いったんハンドルを左に切ってから右に曲がっていきますから、後続車はトラックが左折するという勘違いを起こしやすいのです。

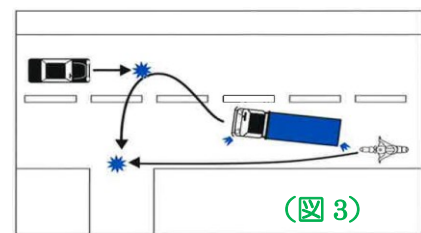
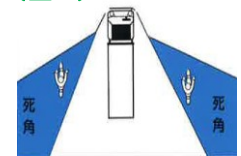
■左右にふくらんで右左折するときは、ふくらんでから右左折するときに一時停止して、後続車の有無をよく確認するようにします。

## ★巻き込み事故防止のチェックポイント

- 左折時に左後方や側方に二輪車等がないかどうか確認しているか。(図1)
- サイドミラーには死角があることを認識しているか。(図2)
- 右にふくらんで左折するときは、ふくらんでから左折するときに一時停止して、後続車の有無を確認しているか。また対向車との距離・速度を確認しているか(図3)



(図2)



(図3)

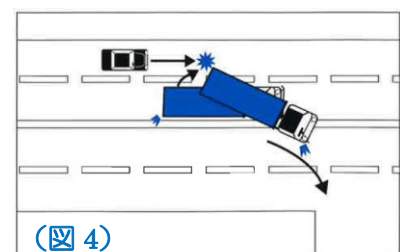
## 2. リアオーバーハングによる接触事故

- ①後輪と車体後部との距離をリアオーバーハングといいます。
- ②乗用車では前後輪と車体前後部との距離が近いので、ほとんど気になりませんが、大型トラックの場合はリアオーバーハングが大きくなります。

■リアオーバーハングが大きいと、車が曲がっていくときに、タイヤの軌跡の外側を車体の後部が通ることになり、右折時に後続車と接触したり(図4)、左折時に対向車と接触することがあります。

## ★リアオーバーハングによる接触事故防止のポイント

- トラックはオーバーハングが大きいことを意識して運転しているか
- 右折するときに、後続車に注意しているか
- 左折するときに、対向車に注意しているか



(図4)